

ポータブルフロアアップ電動テンションスクリーン

## ケストレルテンション(*Kestrel Tension*)シリーズ

ユーザーガイド

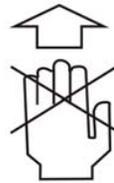


## 重要

- ご使用の前にこの説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
  - 必要な場合に備えて、本書を保存してください。
  - 製品の損傷を避けるため、メーカーが指定した付属品を使用してください。
  - 運搬の際は、製品の損傷を避けるため、注意して取り扱ってください。
  - 起伏や段差のある場所、傾いた場所に製品を置かないでください。
  - 感電や火災を避けるため、電源コードに過剰な電流を流さないでください。また、電気部品に液体その他の物質が触れないよう注意してください。
- ケストレルテンションで使用しているチューブモーターは、温度センサーを備えています。スクリーンの昇降を3～4分繰り返すと、オーバーヒートを防止するために自動的に動作が停止することがあります。この場合、30分程度スクリーンを放置したうえで、再度操作してください。
- ケストレルテンションシリーズにはテンションクロススプリングシステムが搭載されています。この装置はお客様で整備や修理をなさらないようにしてください。お客様自身でカバーを外したり、分解しないでください。製品を改造した場合、メーカーの保証を受けられなくなります。
- 本製品は以下の環境で使用してください。
  - 強風・豪雨や雷が予想される場合にはコンセントを抜いてください。ただし、雷が鳴り出したら製品に触れないでください。
  - 直接、日光・雨・湿気に当たらないようにしてください。
  - 製品が加熱されないよう、火の近くや高温となる場所を避けて設置してください。
  - 製品を移動させる場合やメンテナンスの際には、電源コードを抜いてください。



小さなお子様の手の届かないところでご使用ください

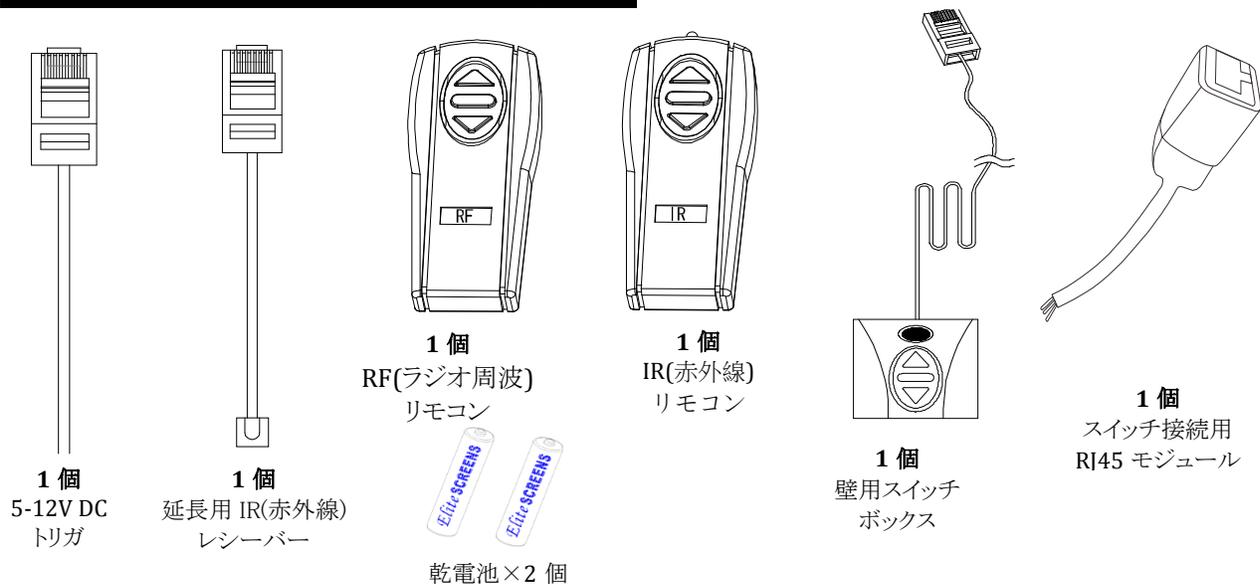


パネルが閉まる際は手を近づけないでください

### NOTE:

- 本装置は、テストの結果、FCC規定の第15条に準拠した、クラスBデジタルデバイスの制限を満たしていることが確認されています。
- クラスBの制限は、装置を住宅地域に設置して使用した場合に、有害な電波障害が発生しないことを目的に定められています。本装置は無線通信周波数の電波を生成し放出するため、使用説明書に沿わない設置方法や使い方をすると、無線通信の障害になる可能性があります。
- 製品の設置方法によっては、電波障害が発生しないという保証はありません。装置がラジオやテレビの受信に有害な電波障害を発生させるかどうかは、装置の電源をオン・オフすることで判定できます。以下の方法をお試しください。
  - 装置に電源を供給する電源コンセントは、できるだけ近い場所を選ぶ。
  - 受信アンテナの場所や方向を調整する。
  - 本装置と受信装置の距離を離す。
  - 受信装置が使用しているコンセントと別のコンセントを使用する。
  - ラジオ・テレビの取扱い業者に相談する。

## ケストレルテンション付属品



## ケストレルテンションの操作

**設置:** ケストレル電動フロアアップスクリーンの左側にある収納から、リモコンと電源コードを取り出します。



電源コードをコンセントへ接続し、電源スイッチを入れます。これで、準備が完了します。

電源スイッチ:



制御方法について:

1. IR(赤外線)およびRF(ラジオ周波)信号: ケストレルはIRおよびRF受信機能を備えています。IRリモコンは、下図のIR受信部に直接信号が届くようにして操作します。RFリモコンは、スクリーンが隠れている場合や、距離が遠い場合に適しています。RF受信機能は、IR受信部にIRリモコンの信号が届かない場合に使用します。

IR 受信部



2. **5-12Vトリガ入力:** 5-12Vトリガ入力は、ケストレルのスクリーンをプロジェクター装置の電源操作に連動させて昇降させるときに使用します。プロジェクター装置の電源を入れたときにスクリーンを自動で立ち上げ、電源を切ったときにスクリーンを収納することができます。

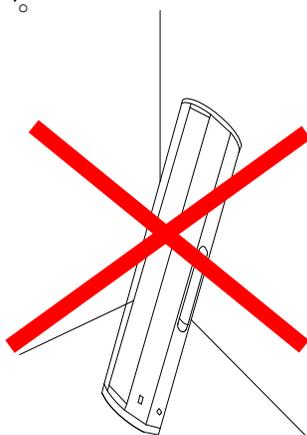
**5-12Vトリガ入力、延長用IR(赤外線)レシーバー、壁用スイッチボックスを使用した制御方法:**

5-12Vトリガ入力、延長用IR(赤外線)レシーバー、壁用スイッチボックスを接続するためのRJ-45端子はスクリーン左の収納の中にあります。



1. **5-12Vトリガ入力:** プロジェクター装置に5-12Vトリガケーブルを接続します。プロジェクター装置からのトリガ出力でトリガ機能が動作しない場合には、9V電池を使用し、ケーブル赤をプラス極、ケーブル緑をマイナス極へ直接接続することで動作をテストすることができます。
2. **延長用IR(赤外線)レシーバー:** 延長用IR(赤外線)レシーバー(ケーブル)は、ケストレルスクリーンを設置した際に、IR受信部が隠れてしまうような場合、受信部を延長するために使用します。
3. **壁用ボックス:** 壁用ボックスの3つのスイッチ操作により、スクリーンの立ち上げ・停止・格納を指示することができます。

**スクリーンの保管:** スクリーンを保管する際は、必ず水平にしてください。壁に立て掛けるなど、垂直の状態では保管しないでください。



### スクリーンの取扱いについて

1. 使用しない場合、スクリーンを格納してください。
2. スクリーンの表面に手を触れないでください。
3. 直接日光に当たる場所や、高温・低温となる場所に置かないでください。
4. 屋内でのみ使用してください。
5. 洗浄には軟水を使用してください。
6. 3分以上連続してスクリーンを昇降しないでください。連続して昇降した場合、オーバーヒートの防止装置が働くことがあります。この場合、20～30分ほど間隔を置いてから再度操作してください。